

外来魚と格闘

御池

生態系維持へ釣り大会 23日



外来魚の釣果を競った釣り大会

外来魚防除釣り大会(小林高野野尻湖)は、高野町の御池・宇津湖のほとり日開であった。在来の手懸糸を釣りながらあるところを、外来魚を駆除するため毎年開催。今回は約100人が参加し、ルアーや餌釣りを楽しんだ。

釣果は、白濁会社でルアーギル12匹、アライギバ2匹、ヒメジョオン2匹、アライギバを釣った愛好家もいた。

毎年参加している高野野尻湖十原町千由丸、会社員山田「今年は「天候の影響で釣果は少なかったが、子どもも楽しむことができた」と話した。

無き小林高野野尻湖釣り引き取り、押めて処分した。御池では外来魚が大量に繁殖しているが、駆除の影響も少なくなってきている。同組織の五田組組長は「駆除しないと外来魚は在来魚が食べられる被害に遭う。今後も取り組むたい」と話している。